

---

# ゆめちから研究発表会

名古屋経済大学高蔵高等学校中学校理科部



# 仮説

## 和歌山信愛のデータをベースにする

和歌山信愛はタンパク含有量が少なかった

→追肥の量を多くすることで増やせるのではないか。

# 研究テーマ

「タンパク質、収穫量  
どっちも欲しい。」

# 施肥計画

	基肥 (g)	起生期 (g)	止葉期 (g)	合計 (g)
基準区	10	18	12	40
研究区	18	30	24	72
追加研究 区	18	0	0	18
調査区	15	27	24	66

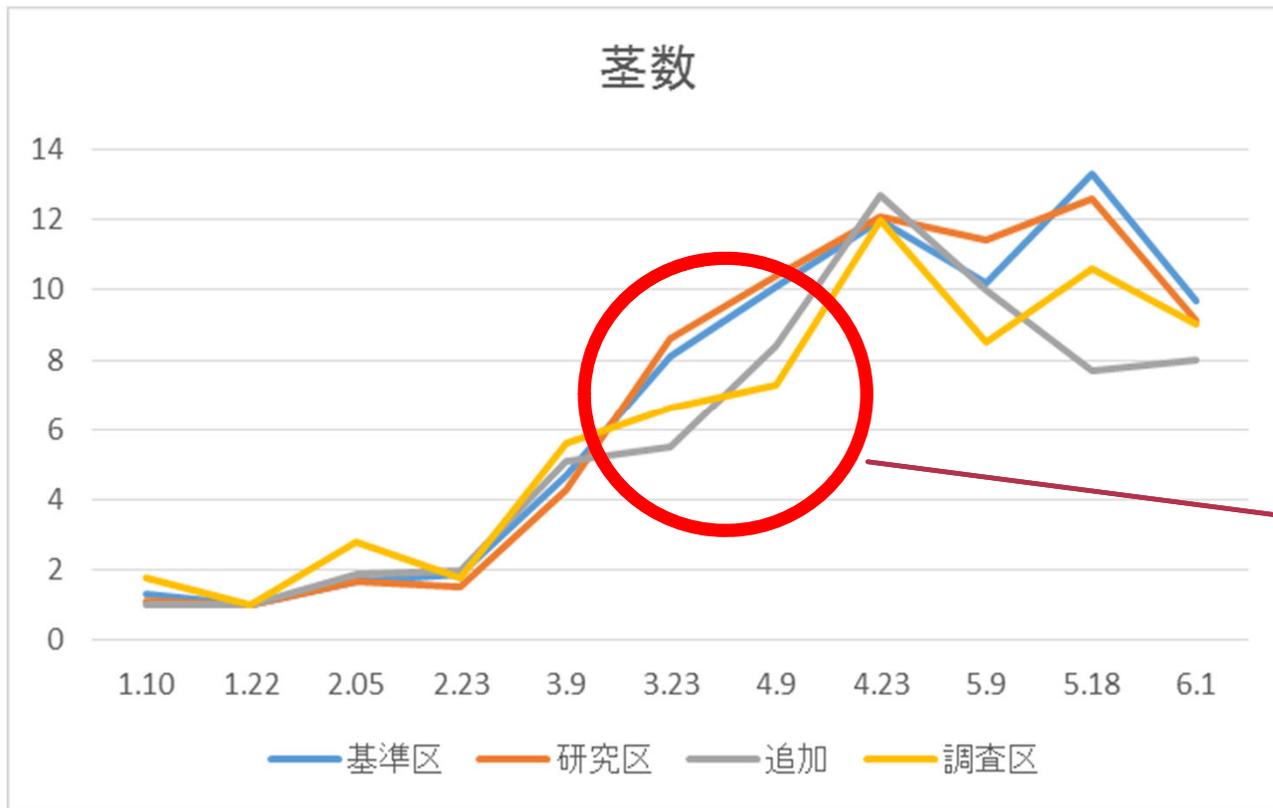
# 栽培条件



---

# 栽培結果

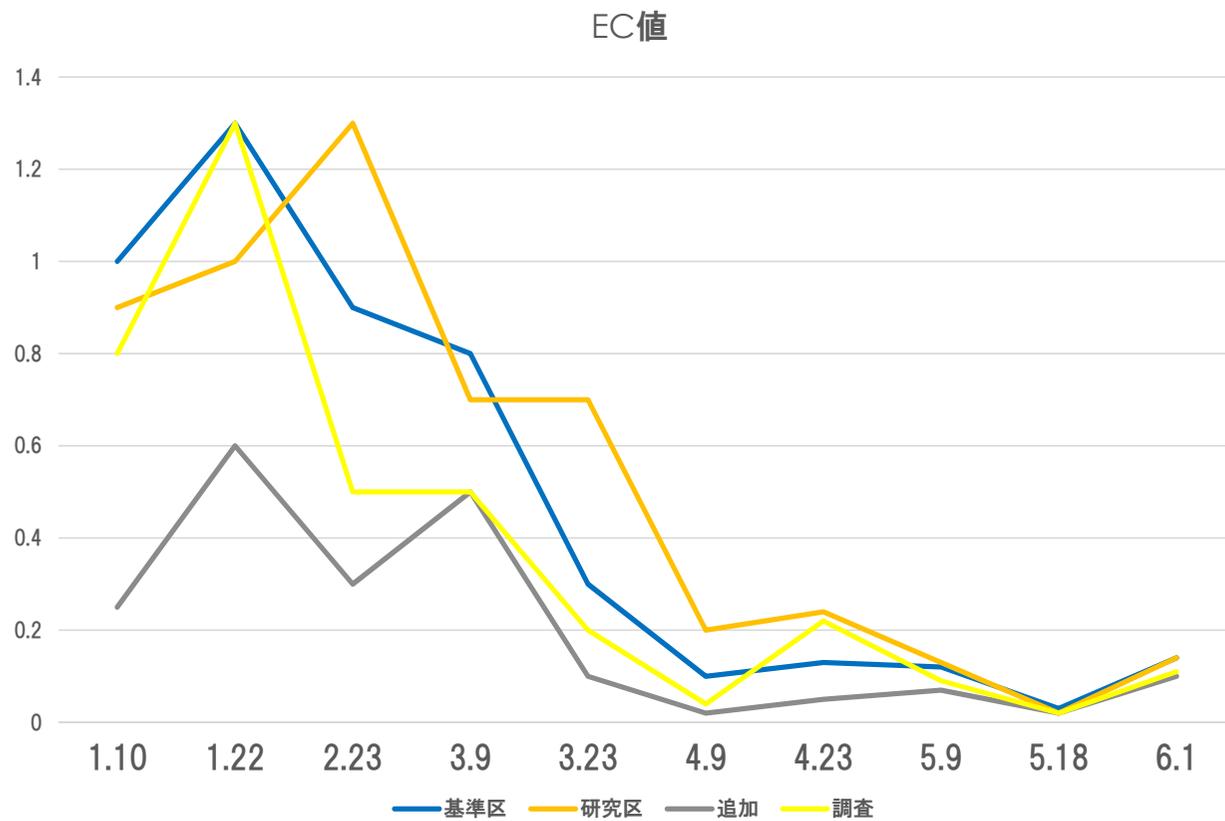
# 分けつ数



区による変化は  
あまり見られなかった

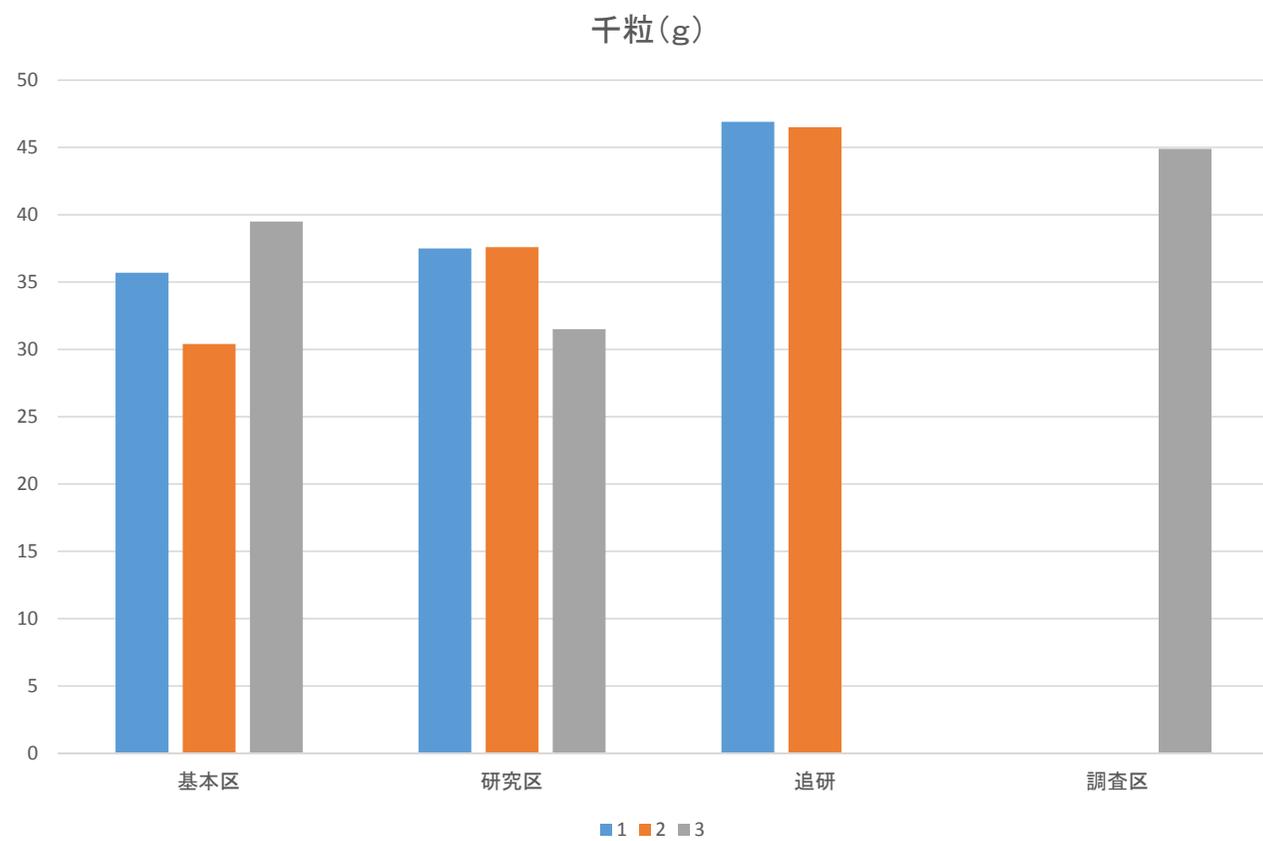
?

# EC値



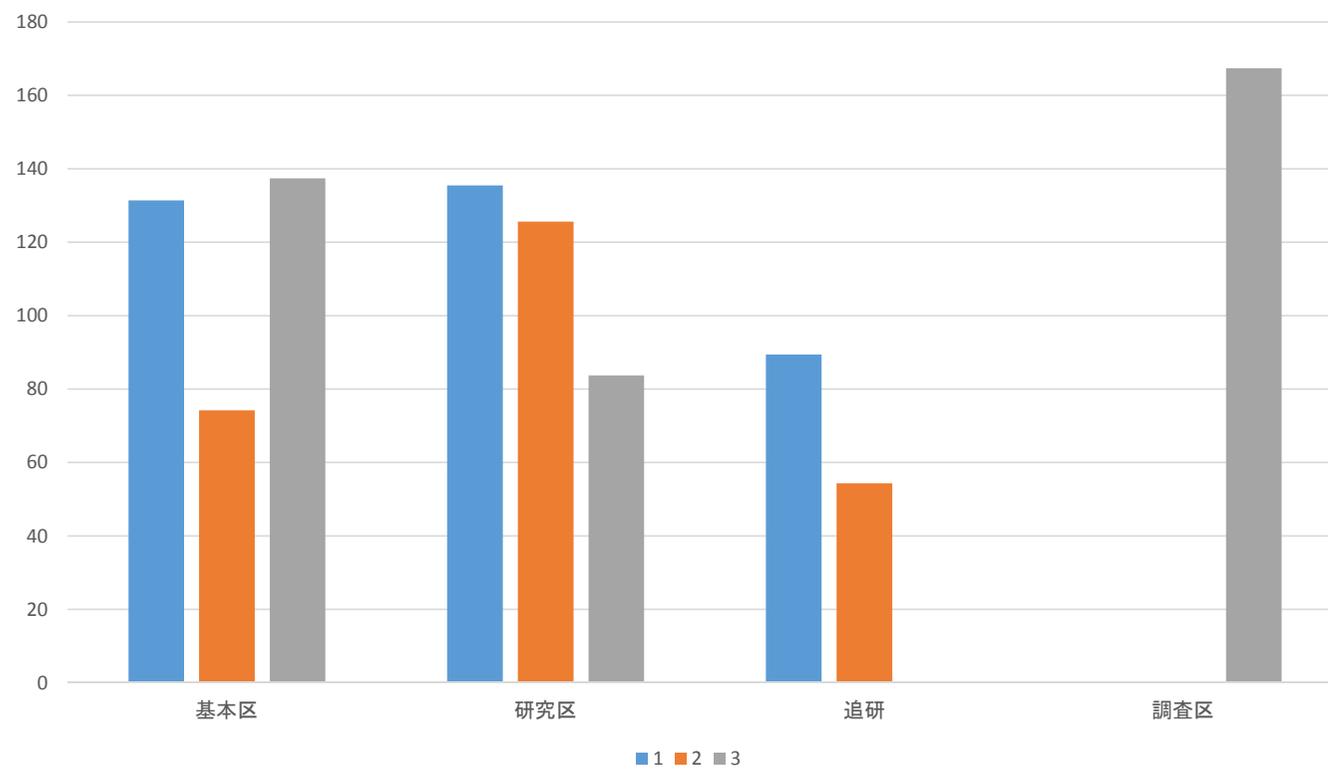
追加研究区のみ  
追肥量が少なく、  
プランターも別のもの

# 千粒重



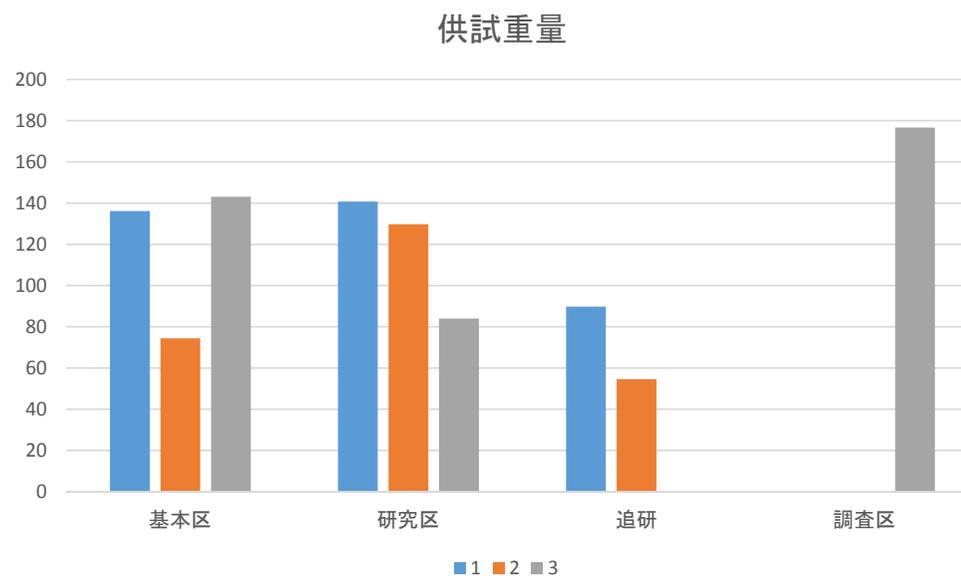
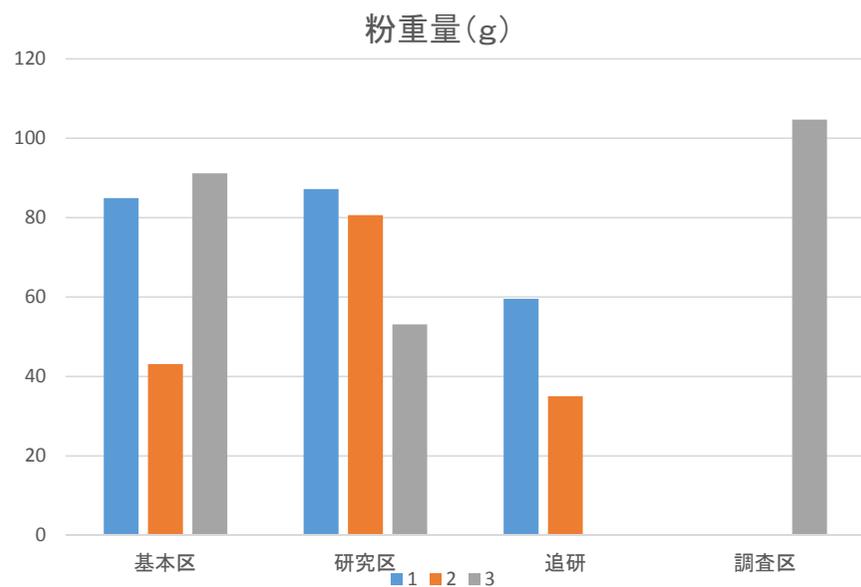
# 全粒重

全粒重 (g)



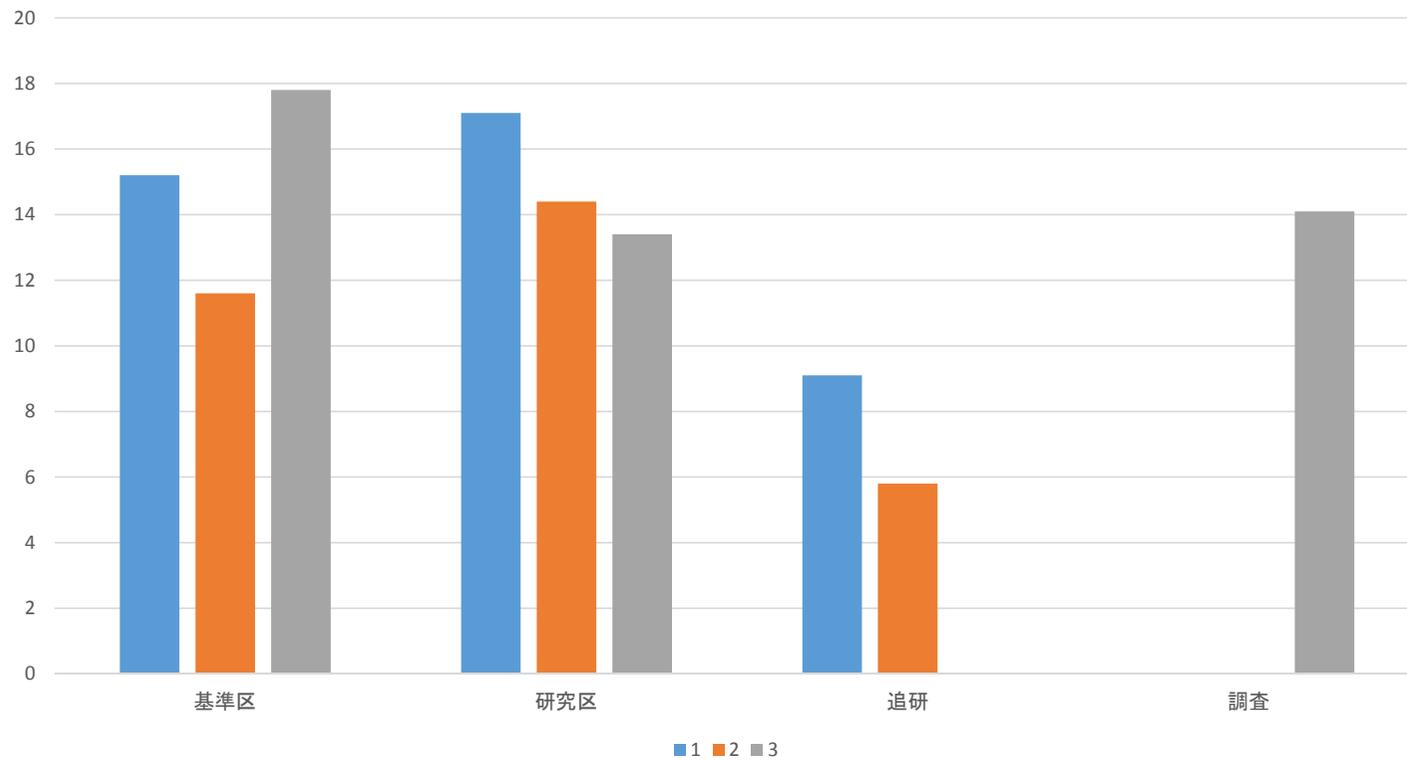
# 粉重量

# 供試重量

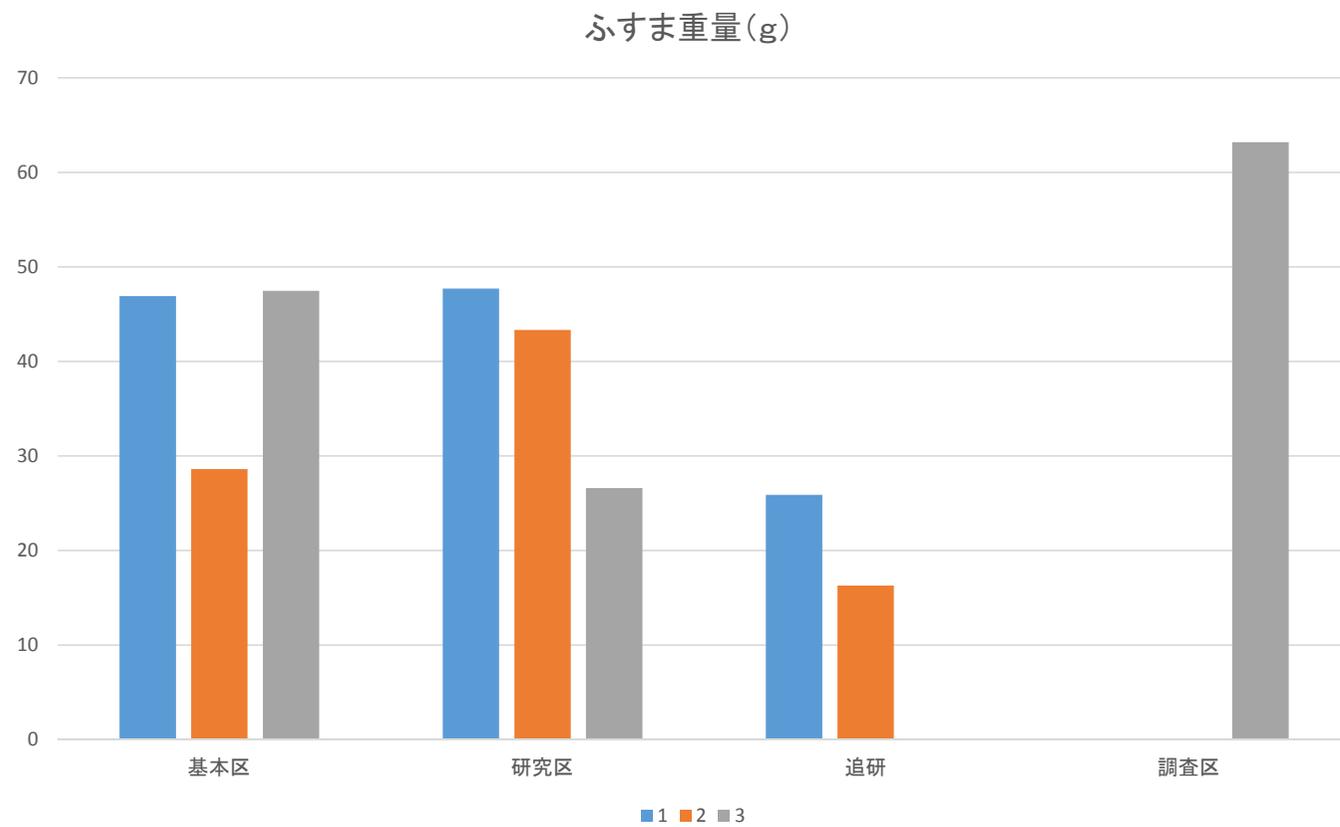


# 1 穂粒数

1穂粒数

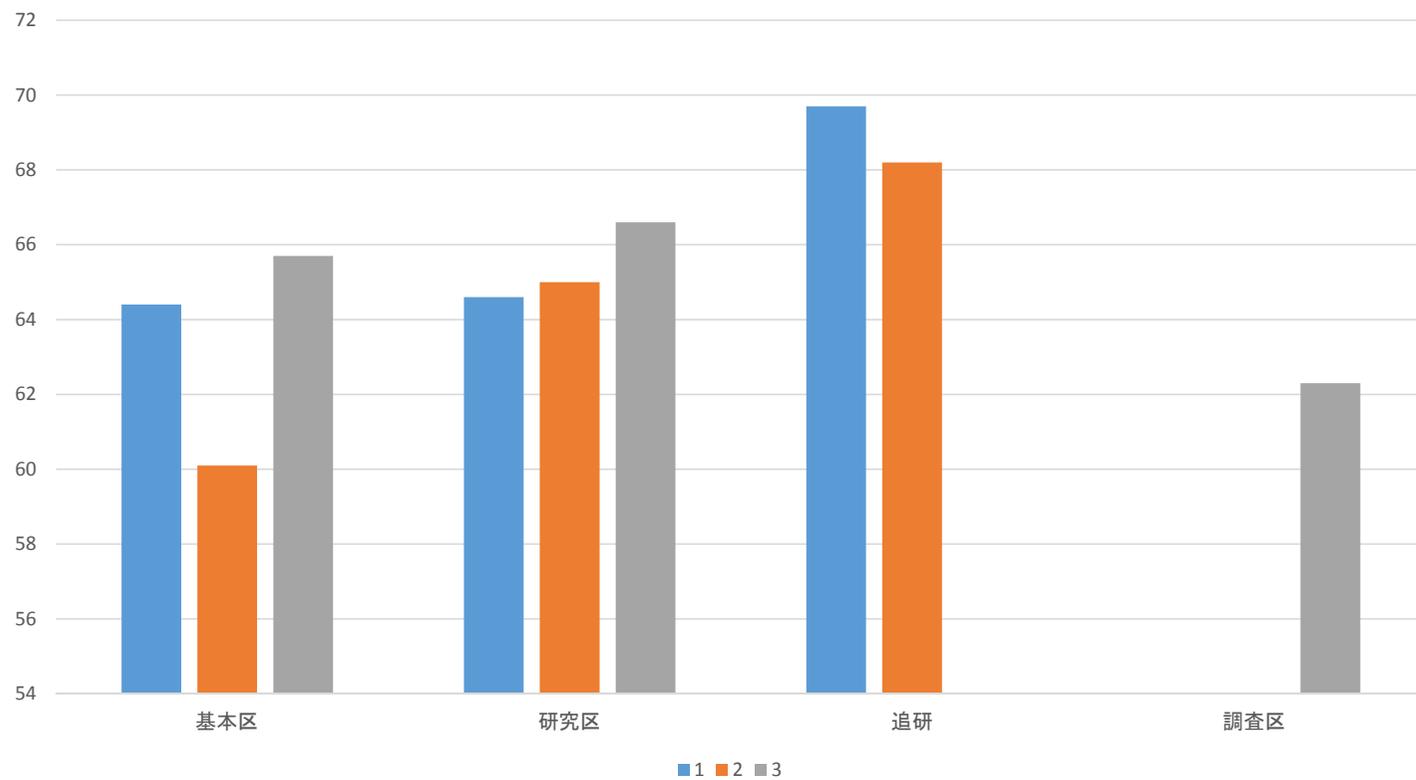


# ふすま重量



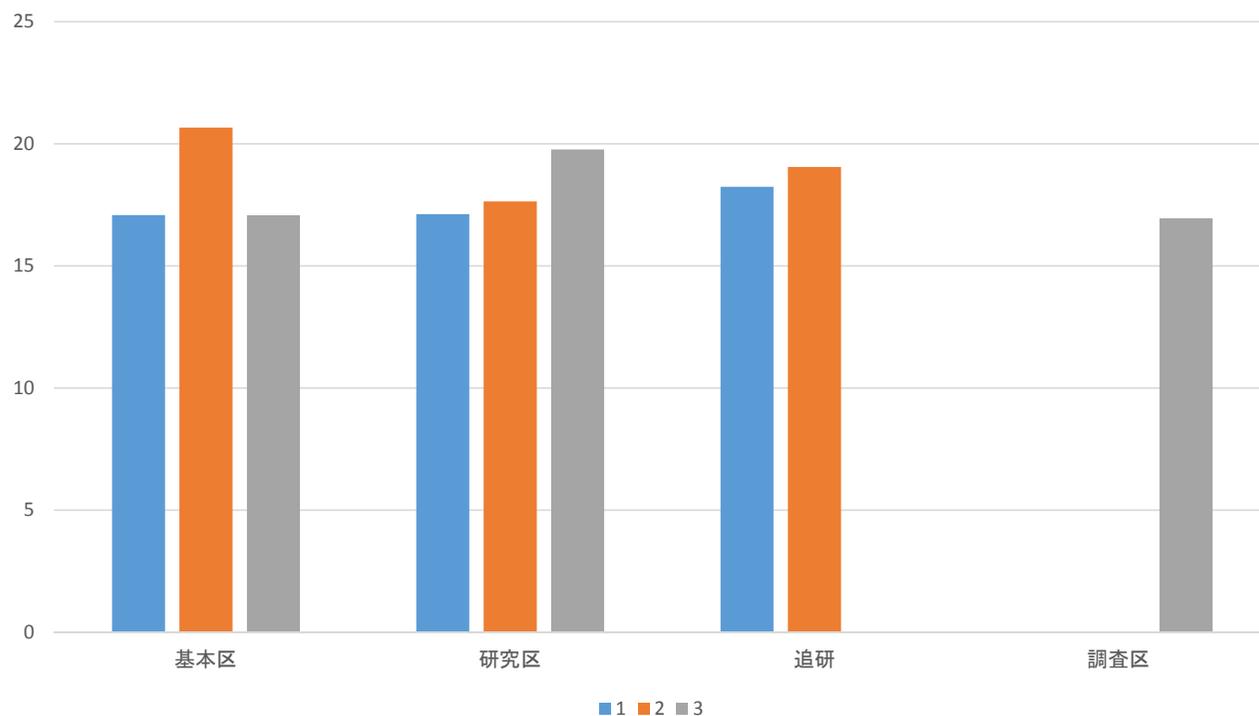
# 製粉歩粒

製粉歩粒



# タンパク質含量

タンパク質含量(%)



早めに収穫をしたため、  
全体的に目標値より高い

鳥害が大きかった基本区2は  
特に高い

# データまとめ

## 調査区について

### 全粒量

基本区	研究区	追加研究区	調査区
114.3	114.9	71.9	167.4

### タンパク含量

基本区	研究区	追加研究区	調査区
18.3	18.2	18.6	16.9

収穫量は多く、タンパク含有量は少ない。  
→ベースにした和歌山信愛と似た結果。

# データまとめ

## 追加研究区について

### 全粒量

基本区	研究区	追加研究区	調査区
114.3	114.9	71.9	167.4

### 千粒量

基本区	研究区	追加研究区	調査区
35.2	36.0	46.7	44.9

### 製粉歩留

基本区	研究区	追加研究区	調査区
63.4	65.4	69.0	62.3

収穫量は極端に少ないが、製粉歩留は高い。また、一粒が他より重い。

# データまとめ

## 研究区について

施肥量合計は基本区より32g多いが、目立った差は見られない。

調査区とは施肥量の合計が6gしか差がないが、収穫量などに大きな差が出た。

# 結果まとめ

- 日当たりの良い場所のプランターは粒が大きくなった。
- 肥料をほとんどあげなかったプランターは収穫量こそ少ないものの、製粉歩留は他より高い数字になった。
- 肥料を増やすだけでは、タンパク含有量を増やすことはできなかった。

# 反省

- 研究区、調査区ともに基本区の全ての追肥を増やしたので、追肥のタイミングによる違いを調べることができなかった。
- 鳥対策などを迅速に行えず、データにばらつきができてしまった。
- 日照条件を区によって均一にできなかった。

# おわり

- ご清聴ありがとうございました。